


※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

No. 26

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	セキグチ ハルエ			
氏名	関口 春江			
派遣希望区	<input type="checkbox"/> 市内全域 <input checked="" type="checkbox"/> (緑区, 青葉区, 都筑区, 港北区, 旭区 瀬谷区)			
支援専門分野 (注1)		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	○	地域まちづくりプラン 地域まちづくりルール 地区計画 建築協定 景観計画 景観協定 <input type="checkbox"/> まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画		
市街地開発事業等		土地区画整理事業 市街地再開発事業		
防災まちづくり等		横浜市の制度を活用した地震火災対策 防災マップの作成・活用 多世代向け防災イベントの企画・運営 密集市街地の改善		
その他得意とする分野 (複数選択可)	地域福祉 (高齢者・障がい者・子育て支援等) 防犯 <input type="checkbox"/> 水・緑・環境 歴史・文化・アート <input type="checkbox"/> 空き家・空き地の利活用 商店街活性化 狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 <input type="checkbox"/> コミュニティの再生 <input type="checkbox"/> 地域の活動拠点運営 地域公共交通 ICT・WEBの活用 その他 ( )			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	まち普請事業	都築区	2024.5.- 2025.1.	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ開催への支援</li> <li>コミュニティデッキの設計支援</li> </ul> 2025年2月 地域デッキ竣工
	まち普請事業	港北区	2022.8.- 2023.11.	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ開催への支援</li> <li>コミュニティカフェの設計支援</li> </ul> 2023年11月 コミュニティカフェ竣工

(注意) 支援専門分野は、横浜まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	コミュニティ 拠点事業	緑区	2018年5月～ 2019年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ開催支援</li> <li>・建売住宅街内コモンガーデン設計</li> </ul> 2019年5月竣工
	コミュニティ 拠点事業	都筑区	2018年5月～ 2018年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援拠点コミュニティカフェ設計支援</li> </ul> 2018年10月竣工
	コミュニティ 拠点事業	東京都世田谷区	2015年3月～ 2016年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ開催支援</li> <li>・社会福祉法人デイケア施設・外構、コミュニティガーデン設計支援</li> </ul> 2016年2月竣工
	コミュニティ 拠点事業	静岡県清水市	2011年5月～ 2013年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人地域内コミュニティカフェ設計支援 2012年7月竣工</li> <li>・社会福祉法人施設内コミュニティスペース設計支援 2013年8月竣工</li> </ul>
自身もコミュニティの運営、活動をしており、その経験の中から共有や支援できる事柄があり、設計デザインを軸に新たなコミュニティの場の企画発案者の構想を、具体的な空間づくりとその運用までをイメージして助言し、必要であれば具現化する支援をしています。 まちは、そこで暮らし、仕事をしている人たちがさまざまに活動し、地域の特徴になっていくと思います。その地域にある課題や資源をとらえて自分ごととして動く人が増えることで、より豊かな地域とコミュニティが育まれると考えます。仲間が集まり、地域と活動をつなぐ拠点づくりをするタイミングになった時、持続していける組織や仕組みを作ることが求められます。また、その仕組みを空間設計にも反映させることは持続可能な拠点作りに欠かせない要素だと考えます。 さらに、そのような拠点が地域に点在し、ネットワークしていくと横軸も縦軸も拡がり、より魅力的なまちとなっていくと考えています。				
必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。				